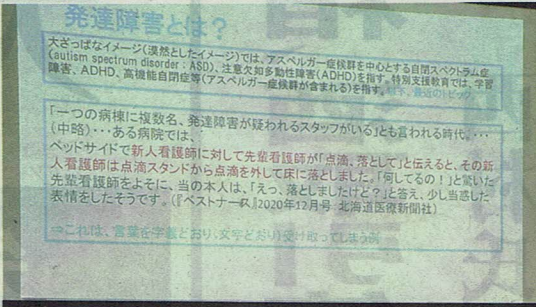


# マイたうん 札幌・道央圏



映画の上映後、障害者を描いた映画について二通名盲教授が解説した講演会



## 発達障害者への理解深めて

### 札幌で映画上映と講演会

アスペルガー症候群の友人との葛藤を描いたドキュメンタリー映画「友達やめた。」の上映と、専門家が発説する講演会が、札幌市教育文化会館(中央区北1西13)で開かれ、市民らが障害について学んだ。(田鍋里奈)

市内の映画愛好家がつくる札幌映画サークルと、全国障害者問題研究会北海道支部が3日に開催した。映画は聴覚障害のある今村彩子監督が、アスペルガー症候群の友人「まあちゃん」との交流を撮ったもの。思いがけないまあちゃんの行動から2人は衝突を繰り返すが、対話を通じて関係を深めていく様子が描かれている。

上映は4回行われ、午後1時から10時までの間は約60人が参加。上映後、札幌学院大の二通名盲教授が発説した。1990年代から障害者本人やその家族を描いた映画が増えてきたと指摘した上で「こうした作品を通じて、社会の中でアスペルガー症候群などの障害に対する理解が広がってほしい」と話した。

ふるさと発